

■■会場内の『安全』を考えよう■■

特に今回は右を見ても左を見てもインフルエンザに対する注意事項が目につくかもしれないが、それだけに気を取られてはいけな。会場内には他にも全参加者が注意すべきことがいくらかでも存在しているのだ。

多数の参加者がひしめくコミケットの会場内外では他の場所では何でもないような事が多くの参加者に危険や迷惑を及ぼしてしまうことがある。そんな事態を避けるためには、まずは何がどう危険なのかを知ることから。特にピギナーさんには『知りませんでした』では通じないこともあるのでよく認識しておいてほしい。

■こんな危険、あんな迷惑■

●携帯電話、携帯ゲーム機の画面に視線を落としたままの歩行

周囲に対して注意が払われてないため、他の参加者との衝突や自分の荷物で周りの人や物を引っ掛ける、しゃがんだり座っている人に突っ込むケースが続発。ぶつかった拍子に手に持っていた機器を落として破損し、新たなトラブルに発展することもある。

同様の困った行為にヘッドフォンで耳を塞いだままの移動がある。会場内はもちろん、特に入場待機列や販売待機列などでは逐次準備会スタッフから注意やアナウンスが入るが、耳を塞いでしまっているはそれを聞き逃してしまう。すると指示を無視する結果となり、列を乱したり、自分勝手な行動を取ってしまうことになる。

ただでさえ人口密度がやたらと高く、自分以外の参加者に十分な注意をはらい続けなければならないのがコミケット会場という場所なのだ。何かの時に的確な行動が取れるように、せめて会場周囲では目と耳とは余計な物で塞がないようにしておくことを心がけてほしい。

●大き過ぎるバックパック、一般参加者の迷走カート

混雑した会場の中で大きなバックパックを背負った人が急に方向転換、周囲の参加者やサークルの展示物がバックパックに雑にぶつかる。

キャリーバックやカートを後方にだらりと流し曳いたまま周囲を無視した方向転換やストップ&ゴーを繰り返す人が混雑に突入、周囲の参加者は足元を右往左往するバックやカートに足を轢かれたりつまづいたり、引っ掛けられて痛い思いをする。

主にこの2種類の危険が今よりも多くの参加者を脅かすことだろう。

残念ながら、この手の突発的な接触に対しては有効な防御方法はない。せいぜい会場内では周囲に注意を払い、そういった人物を未然に回避するしかないが、相手から突っ込んでこられてはどうしようもない。つまるところこのタイプの危険は一方的な被害者が発生しやすく、しかも加害者にその自覚が無いという悪質なケースが極めて多いのだ。

自分自身にダメージが無いと人間なかなか気づかないものだが、他者に気を遣わない参加者が増えるということは、同時に自分自身もそういう自己中心的な相手からダメージを与えられるリスクが増えるということでもある。

コミケット会場の安全性や快適性は常に自分の認識の鏡なのだということを忘れずに、どうしてもカートや大きなバックパックを使用するのなら一倍周囲に注意を払い、危険や迷惑を及ぼさない移動のしかたをよく研究して臨んでほしい。

●日傘&雨傘の行列内での使用

傘そのものは会場への持込が禁止されている物品には含まれないが、前後左右に参加者が密集している待機列で使用すると、前後の参加者の顔や頭に傘の先が当たって非常に危険である。その上、雨水は傘を流れ下ってそのまま周囲の参加者の肩口や荷物に降り注ぐことになる。そういった危険や迷惑があることから行列では傘は極力使用しないに越したことはない。雨対策は傘オンリーではなく、必ずポンチョな

